

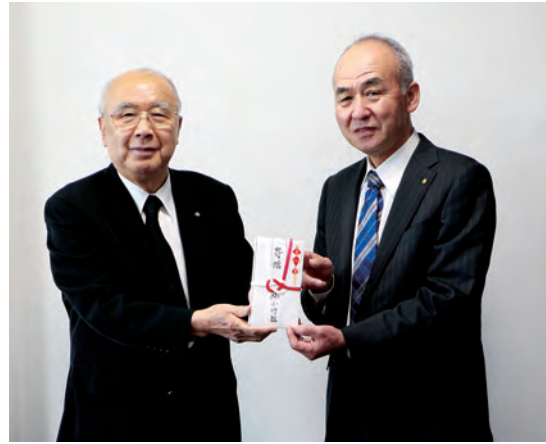


自衛官募集相談へ委嘱状 自衛隊募集の活動を支援

3月10日、自衛官募集相談員委嘱状交付式が役場で行われました。

自衛官募集相談員は、自衛隊の広報や志願者への情報提供、相談のほか、防衛意識の普及など防衛基盤の育成にも貢献する重要な役割を担っています。

交付式では、川添町長から前田穂さん(写真右から2人目・葛輪)と内田万吉さん(写真同3人目・母良木)の2人に委嘱状が交付されました。2人は、令和7年度から令和9年度までの2年間、自衛官募集相談員として活動されます。



小竹組から町へ図書寄付 本を楽しんで欲しい

3月7日、株式会社小竹組(江越征記代表取締役社長)から町立図書館の蔵書の増刷を目的とした寄付があり、同社の小川武男統括部長(川内)から、川添町長に手渡されました。

この寄付は、同社が令和6年で100周年を迎えることを記念して行われていきます。町では、小竹組文庫として、指江図書館に本が並びます。

小川統括部長は「子どもから大人まで、本をたくさん読んで、活字に親しみ、楽しんで欲しい」と話しました。



川床中学校森林教室 間伐材でベンチ作りに挑戦

3月13日、川床中学校(西元ひとみ校長・46人)で北薩森林組合職員と町職員を講師に迎え、1年生を対象とした森林教室を開催しました。生徒らは、林業についての講義を受講した後、間伐材を使用したベンチを作成しました。

これは、森林の地球温暖化対策との関係性や循環の重要性と地域の林業が果たす役割を学ぶことを目的としています。

田中颯斗(はやと)さんは「森林について学びが深まった。ベンチ作成は難しかったが、良い物ができた」と満足した表情でした。



鷹巣チーム県ちび準優勝 歴史を塗り替える快挙

3月12日、第51回鹿児島県ちびっ子ソフトボール大会の結果を鷹巣ソフトボールスポート少年団のメンバーが川添町長に報告しました。

大会は、2月22日から3月9日まで行われ、計134チームが参加した大会で、同チームは、見事勝ち抜き、準優勝。ベスト8が懸かった試合では、昨年優勝の中山(鹿児島市)を押さえ決勝戦に進出しました。

主将の濱島大海(たいが)さん(鷹巣小6年)は「チームの歴史を塗り替えることができ、とても嬉しかった」と話しました。